

## ●国の登録文化財

## (1) 有形文化財

名称	所在地	所有者	登録年月日	摘要
北海道大学古河記念講堂(旧東北帝国大学農科大学林学科教室)	札幌市北区北9条西7丁目	国立大学法人 北海道大学	H9.9.3	中央に入口を設け、左右に翼部を伸ばすルネッサンス様式の建築である。設計は文部省技師の新山平四郎。総2階建てで、マンサード屋根をかけ、中央部にかつては時鐘が取り付けられていた小塔が設けられており、全体に簡素ではあるがまとまった意匠を示す。
北星学園創立百周年記念館(旧北星女学校宣教師館)	札幌市中央区南4条西17丁目 2-2	学校法人 北星学園	H10.9.2	女子中等学校の宣教師館として建てられた。基本設計は米国人建築家ヴァーリズで、実施設計を札幌在住のスイス人建築家ヒンデルが手がけた。急勾配の大屋根や張り出し窓等、本格的な洋風のデザインを用いている点の特徴。百周年記念館として公開されている。
日本基督教団札幌教会(旧札幌美以教会堂)	札幌市中央区北1条東1丁目	日本基督教団 札幌教会	H10.9.2	市街地に建つ教会。木造の教会が焼失した後に建てられたもので、木造骨組の表面に石を貼り耐火に備えた構造になる。意匠は全体的にはロマネスク風だが、バラ窓等の細部にはゴシック風の意匠もみられる。市街地のランドマーク的存在として広く親しまれている。
北海道知事公館(旧三井クラブ)	札幌市中央区北1条西16丁目	北海道	H11.10.14	約5.6haの広大な敷地に建つハーフトインパーの建物。当初三井家札幌別邸新館として建てられ、昭和28年から知事公館となっている。南北両面の切妻部には各々異なる意匠が施され、特に正面入口上部には四葉をあしらった大きな出窓がつけられている。
杉野目家住宅	札幌市中央区南19条西11丁目 1-25	個人	H11.10.14	チューダー様式を参考にデザインされた木骨煉瓦造2階建て住宅。破風部の湾曲した木組などにその特徴が表れる。北海道帝大理学部教授の住宅で、北海道帝大技師宮繕課長萩原惇正の設計による。市内最初の集中暖房住宅としても知られる。
北海道大学農学部博物館パチェラー記念館	札幌市中央区北3条西8丁目	国立大学法人 北海道大学	H12.4.28	重文指定北海道大学農学部博物館本館の西隣に位置する、アイス伝道と研究で知られるジョン・パチェラー博士の旧宅。総2階建て、全面下見板張、寄棟屋根鉄板葺の洋館。正面1階に出窓、2階に縦長上げ下げ硝子窓が左右対称に配置された簡素で瀟灑な建物。
北海道大学附属植物園庁舎(旧札幌農学校動物植物学教室)	札幌市中央区北3条西8丁目	国立大学法人 北海道大学	H12.4.28	旧札幌農学校キャンパス内にあったI字型平面からなる動物植物講堂の東翼部を移築したもの。木造2階建て、漆喰塗大壁。入口はピラスターとモディリオンに支えられた三角ペディメントで飾られる。当時文部省建築掛札幌出張所長の中條精一郎による設計。
北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市北区北9条西8丁目	国立大学法人 北海道大学	H12.4.28	旧札幌農学校キャンパス内の東南端に位置したI字型平面を持つ木造平屋建ての建物。漆喰塗大壁造で、上げ下げ硝子窓が左右対称に配される。ピラスターとペディメントで構成される正面中央部が、寄棟屋根の両翼部と対照的に正面性を強調する。設計は中條精一郎。
北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市北区北9条西8丁目	国立大学法人 北海道大学	H12.4.28	T字型平面を持つ木造平屋建ての図書館閲覧棟。手前に張り出す棟には、2つの頂塔が載り、側面には三角・楕形ペディメント付きの窓が交互に配置される。現キャンパスに移転した時のもので、旧昆虫及養蚕学教室とともに現位置に遺る。中條精一郎の設計。
北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市北区北9条西8丁目	国立大学法人 北海道大学	H12.4.28	中條精一郎により設計された札幌農学校新キャンパスの施設である図書館の書庫。煉瓦造2階建て、切妻造の倉庫建築であるが、腰積に焼過煉瓦を用い、コーナーの要所に石を配し、妻の笠石をステップ状に積むなど細やかな造型的・構造的処理が認められる。
エドウィン・ダン記念館(旧北海道庁真駒内種畜場事務所)	札幌市南区真駒内泉町1丁目6-1	札幌市	H12.9.26	農商務省所管の真駒内種畜場の事務所として同省北海道事業管理局が設計。下見板張、寄棟造で正面中央に切妻造の玄関及び屋根窓を構え、背後に両側面ペランダ付の部屋を増設。真駒内中央公園内に移築、畜産技術を指導したお雇い米国人ダンの記念館として公開。
旧岡水源地取水塔	札幌市豊平区西岡公園内	札幌市	H13.8.28	旧陸軍第7師団歩兵第25連隊用として月寒川上流部に建設された水道施設。内径1.5m、高6.6mの円柱状煉瓦造基礎の上に、六角形平面、下見板張、縦長窓付の木造胴体部と、六角錐形の屋根が載る。井上二郎設計。公園のシンボルとして市民に親しまれている。
黒田家住宅母屋	札幌市中央区南13条西7丁目 1-1	黒田合資会社	H22.9.10	南西角地の北西に建つ、木造平屋一部二階建て、鉄板葺、建築面積240㎡。東寄棟造とする主棟に南北に腰折れ屋根の妻面を見せ、東南に寄棟造の応接室、西に落棟などを付けて複雑な屋根を構成し、煙突やドーマーウィンドウを要所に飾り、変化に富む外観をつくる。
黒田家住宅蔵	札幌市中央区南13条西7丁目 1-1	黒田合資会社	H22.9.10	母屋の西に蔵前を介して建つ。桁行9.1m梁間3.6mのコンクリートブロック造2階建て、南北棟で切妻造鉄板葺。ブロックは札幌軟石風面に表面をつくる。妻面の1、2階に窓を穿ち、出窓の枠や四枚戸を銅板張とする。建ちの高く、重厚な佇まいを示す。
黒田家住宅表門	札幌市中央区南13条西7丁目 1-1	黒田合資会社	H22.9.10	敷地の東辺中ほどに、玄関に向かって斜交して建つ。間口2.1mの間腕木門で、切妻造鉄板葺とし、袖塀と石柱を付設する。扉を吊らず、潜り戸を開ける一枚戸をたて込む。袖塀は高さ1.9mの大和塀で石柱に取り付く。瀟灑で、気品のある構えを構成する。
黒田家住宅石塀	札幌市中央区南13条西7丁目 1-1	黒田合資会社	H22.9.10	南北の敷地境界に建ち、総延長77mを測る。江戸切仕上げの石塀で、敷地側には4m毎に控柱を付す。北塀は六段積で高さ2.1m、南塀は八段積で高さ2.7m。ともに上部に薄いブロック石と笠石が載る。軟石の風合いが敷地景観に落ち着きを与える。
沼田家住宅旧第二りんご倉庫	札幌市豊平区西岡4条10丁目 7-1	個人	H24.8.13	札幌市東郊の水源地通りに面して建つ。桁行6.8m梁間5.2mの煉瓦造、切妻造鉄板葺。北面中央西寄りの欠円アーチ戸口上部に三角ペディメントを飾る。外壁に断熱のため中空層を設け、軒蛇腹は鋸歯形に作る。整った意匠の煉瓦造倉庫。
柳田家住宅旧りんご蔵	札幌市豊平区平岸2条5丁目 9-1	個人	H24.8.13	街路に北面して建つ桁行7.2m梁間5.5m煉瓦造二階建て、切妻造棧瓦葺で、南妻面戸口に煉瓦造袖壁付の鉄板葺庇がつく。南妻の二階窓にモルタル塗袖壁付庇がある。外壁はイギリス積で軒蛇腹は歯飾りとする。草創期の煉瓦造りんご貯蔵庫である。

## ●国の登録文化財

## (1) 有形文化財

名称	所在地	所有者	登録年月日	摘要
遠藤家住宅主屋	札幌市中央区南6条西5丁目18他	個人	H26.10.7	繁華街すすきのの一面に建つ、もと材木商の居宅。南正面に入母屋造の玄関を構え、西に内装洋風の応接室を配し、さらに六間取系の座敷部や離れ座敷を雁行させる。北面に日常居室部を連ね、煉瓦造の北壁は外塀を兼ねる。洗練された意匠を持つ上質な近代和風建築。
遠藤家住宅蔵	札幌市中央区南6条西5丁目18他	個人	H26.10.7	主屋の北西に接続する二階建の煉瓦蔵。焼過煉瓦のイギリス積で、両妻をブロークンペディメントとして庇付窓をあげ、コーニスに歯飾りを飾る。小屋組はキングポストラスで、内部階段も洋風意匠とする。煉瓦造の主屋北壁とともに重厚な街路景観を形成する。
遠藤家住宅南石蔵	札幌市中央区南6条西5丁目18他	個人	H26.10.7	敷地東辺南寄りに建つ、札幌軟石を布積とした平入の蔵で、東面の石塀を外壁とし、両妻に窓を穿つ。石塀内側に設けた石製持送で垂木掛を支持し、片流れの屋根をかける。南側にはムロに使用したコンクリート造の地下室が附属する。敷地内の景観を引き締める蔵。
遠藤家住宅北石蔵	札幌市中央区南6条西5丁目18他	個人	H26.10.7	敷地東辺北寄りに建つ、札幌軟石を布積とした平入の蔵で、南石蔵と同形式とするが、桁行が九メートルと長い。軒先に鉢巻を廻らし軒蛇腹を付す。南北妻面の窓は隅部を丸く縁取り、鉄格子を入れる。石塀と一体的に建てられた堅牢な蔵で敷地景観に寄与する。
遠藤家住宅表門	札幌市中央区南6条西5丁目18	個人	H26.10.7	敷地南辺、主屋玄関の斜め前方に構える、間口二・五メートルの間業医門である。屋根面と化粧垂木ともに縦起りをつけた切妻造で、棧瓦葺とする。左右袖塀は潜戸をもち、石塀に接続する。規模と木割の大きな風格ある表門で、屋敷の表構えを構成する。
遠藤家住宅塀	札幌市中央区南6条西5丁目18	個人	H26.10.7	敷地を囲む塀。東、南、西の三面は札幌軟石積とし、瘤出し仕上げで見付高さの異なる布石を交互に積む。北面は煉瓦造で、主屋の北壁を取込み、東寄りの一對の門柱と東面両隅に立てた柱には、幾何学意匠の柱頭を飾る。繁華街に風格ある景観を形成する塀。
旧三菱鉱業寮	札幌市中央区北2条東6丁目2他	札幌市	R1.9.10	永山記念公園にある鉱山会社の旧福利厚生施設。木造二階建、切妻造の洋館で、一階を下見板張、二階をモルタル刷毛引仕上、妻をハーフティンバーとする。内部は上下階とも中廊下を通し、和室の宿泊室等を配する。戦前の民間企業倶楽部の遺例として貴重な存在。
北海道大学空沼小屋	札幌市南区常盤石狩森林管理署1157イ林小班	国立大学法人北海道大学	R4.6.29	空沼岳の方計沼畔に所在する山小屋で、秩父宮雅仁親王の発意により、スイス人建築家ヒンデルが設計した。丸太組構法二階建、小規模ながら機能的な設計で最大30名宿泊可能。金具意匠、木柄たさ、ストープ廻りの吹抜等、スイスの良質な山小屋を思わせる。
北海道林木育種場旧庁舎	江別市文京台緑町561-1	江別市	H13.8.28	野幌森林公園内の北端部にある。北海道庁林業試験場として建設される。1階を煉瓦組積造、2階をハーフティンバー風木造とし、外装モルタル洗出とする。小屋組はクイーンポストラス風。市の高台に位置し、地域のランドマークとして親しまれている。
旧北陸銀行江別支店	江別市2条2丁目6	個人	H14.2.14	江別駅近くの商業中心地にある銀行建築で、現在は喫茶店として活用されている。切妻造・平入で、正面に下屋庇とポーチを設けた形式で、構造は石造、小屋組はキングポストラスである。土蔵造風の外観は、地方における銀行の支店建築に通じている。
旧肥田製陶工場(EBRI)	江別市東野幌町3-3他	江別市	H31.3.29	窯業で栄えた市中心部にある旧窯業工場。切妻造鉄板葺の平屋建、T字型平面の煉瓦造にL字型平面の鉄筋コンクリート造の増築部を連ねた不整形な建物で、増築部の壁を煉瓦積として一体感のある外観をつくる。近代江別の象徴的存在で、地域に親しまれている。
旧山谷家住宅石倉(樋口季一郎記念館)	石狩市八幡町高岡103-3	営利法人	R6.3.6	知津狩川南岸の農村集落に位置し、かつて米を収納した石倉。二階建切妻造鉄板葺で東妻を戸口とし下屋を付す。内部は1室の土間で上部に梁と束の和小屋を現す。西妻には鉄扉付の窓を開け、鏝絵で屋号を掲げる。札幌軟石を用いた外観が集落景観を形成する。
旧山谷家住宅木倉	石狩市八幡町高岡102-16	営利法人	R6.3.6	石倉の南西に東面して建ち、米や雑穀を収納する倉。二階建切妻造鉄板葺で東面中央を戸口とし、外壁は下見板張とする。内部は中央に独立柱を立て棟木を支える。各階板敷とし一階南端を穀物用に三室に仕切り、二階は物置とする。石倉とともに集落景観を形成。

## ●道指定文化財

## (1) 有形文化財

名 称	所在地	所有者	指定年月日	摘 要
琴似屯田兵屋	札幌市西区琴似1条7丁目	琴似神社	S39.10.3	明治7年建設、北海道屯田兵制度による最初の兵屋。
札幌市K-446遺跡出土の遺物	札幌市中央区南22条西13丁目 札幌市埋蔵文化財センター	札幌市	S55.8.12	旧琴似川水系にある擦文時代の竪穴式住居から出土。土器 12 個(うち須恵器 1 個)・土製支脚 3 個、土製紡錘車 2 個。
旧永山武二郎邸	札幌市中央区北2条東6丁目2	札幌市	S62.11.27	明治10年代前半建築されたもので、当時の上流住宅として数少ない遺構である。
新琴似村屯田兵村記録	札幌市北区北8条西5丁目 北海道大学附属図書館	国立大学法人 北海道大学	H28.3.31	新琴似兵村(現・札幌市新琴似地区)に屯田兵が入植した翌年の明治21年から昭和4年までの兵村自治組織の議事録、収支予算決算書、決議事項、生産物の販売台帳等を収録した歴史資料。
野幌屯田兵第二中隊本部	江別市野幌代々木町38	江別市	S33.4.10	明治18年設置された野幌兵村のもので、残存する屯田兵軍制機関では最古のものの一つ。
知里幸恵ノート	江別市文京台東町41-1 北海道立図書館	北海道	H22.3.16	アイヌ語を母語とする女性、知里幸恵(1903~1922)が祖母や伯母から聞き覚えたアイヌ民族に伝わるユーカラなどの口承文芸作品をローマ字を用い自らの工夫で書き綴ったものです。アイヌ語を母語とし日本語にも精通する知里幸恵資料として貴重であるばかりでなく、歴史遺産として極めて重要である。
大麻3遺跡出土の土偶	江別市緑町西1丁目38 江別市郷土資料館	江別市	H24.3.19	江別市大麻3遺跡から重なった状態で出土した縄文時代晩期のほぼ完形の2点の土偶。同一遺構から複数の土偶が出土する例は極めて少なく、学術的価値も非常に高い文化財である。
阿弥陀如来立像	恵庭市上山口476	天融寺	S34.2.24	高さ77.5cm、建保2年(1214年)の年号を持つ文書が体内より発見、快慶の作と言われている。

## (2) 有形民俗文化財

名 称	所在地	所有者	指定年月日	摘 要
石狩弁天社の鮫様(妙亀・法鮫大明神像)	石狩市弁天町18	石狩弁天社 崇敬講社	H19.3.20	文政8年(1825年)に漁場経営者により奉納された「妙亀・法鮫」の2体からなる木像。アイヌの人たちの伝承に見えるチョウザメと和人の信仰が混淆した北海道独特の信仰形態を表す。
金龍寺の鮫様(龍神・妙亀菩薩・鮫神像)	石狩市新町4	宝珠山 金龍寺	H19.3.20	明治22年(1889年)に漁場経営者により奉納された「龍神・鮫神」「妙亀菩薩」の3体からなる木像。アイヌの人たちの伝承と和人の信仰が混淆し、この地方の漁場経営の一端を表す。